

2020 年 サステナビリティレポート



目次

会社概要	1
ご挨拶	2
クラブの CSR・環境活動	3
クラブ CSR 基本方針	4
品質管理方針	5
環境方針	6、7
購買方針	8
労働安全衛生方針	8
情報セキュリティ方針	9
コンプライアンス方針	9
事業継続計画（BCP）	9
次世代育成支援活動	10
CSR 推進体制	10
内部統制システム	11
（空白のページ）	12
2019 年活動報告	13
お客様に対して	14
サプライチェーンに対して	15
社会・環境に対して	16
従業員に対して	17
その他のトピックス、終わりに	18

会社概要

未来をセンシングする ケミトロニクス

社名	株式会社クラベ
創業	1938年2月11日
設立	1939年6月25日
株主資本	282億円
資本金	7億8,000万円
役員	代表取締役社長 金澤 岳信 常務取締役 石山 友一 取締役 大石 徹 取締役 鈴木 聡 取締役 森本 慶洋 取締役 安川 佳和 取締役 佐藤 明男 監査役 池ヶ谷 典男 監査役 田畑 隆久 監査役 足立 庄平
従業員数	930名
決算	年1回12月
年商	300億円
主力取引銀行	みずほ銀行浜松支店
工場	篠原工場、浜北工場、雄踏工場、 庄内工場、都田工場
営業所	東京、関東、東海、四日市、富士、 名古屋、大阪、京都、姫路、福岡

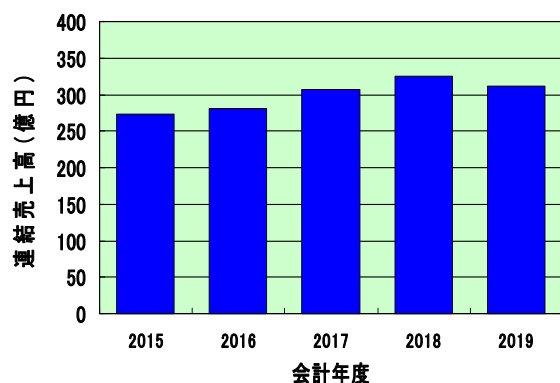


本社と国内 5 拠点



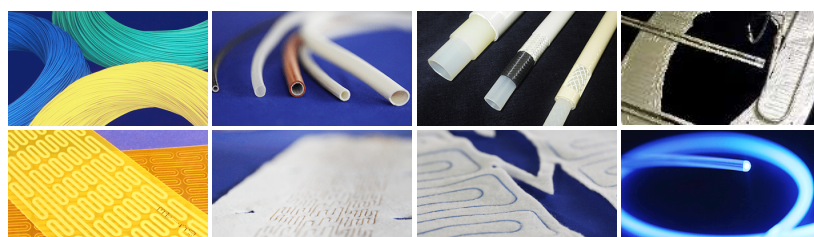
ベトナム 3 拠点と中国 1 拠点

クラベ売上高(連結)の推移



2019 年連結売上 312 億円

主な製品群



ご挨拶



厳しい環境下でも電気機器を安全に使用するために欠かせない耐熱特殊電線。車載用など信頼性を重視する用途で安全にかつ最適に機能する発熱体。そして独自に進化をした材料技術を応用した絶縁材料や成型品、さらにニッチ商品の数々。

これらの分野において 80 年余、わたしたちの独創性を発揮し、社会の発展に貢献してまいりました。

人間社会の発展につれ電気は益々広い分野や用途に、そして様々な環境で使われるようになり、わたしたちが活躍できる分野は年々拡大してゆきます。

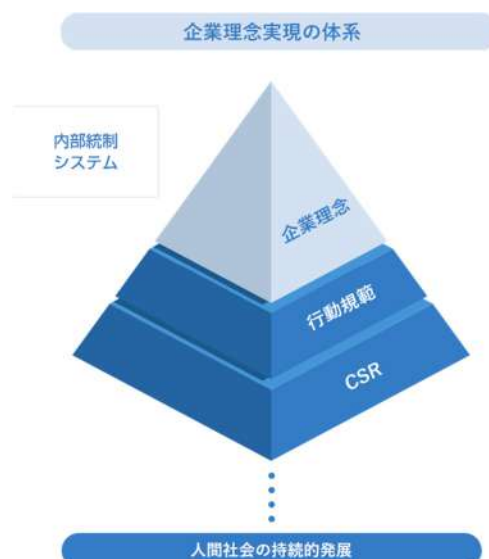
今後も「ケミトロニクス」の旗印の下、材料技術、電気技術、機械設計技術など、保有する複数の専門技術にさらに磨きをかけ、様々な業界の先頭を行く企業様との関係を深め、グローバル展開を進めてゆきます。

今後とも高品質で独創的な商品を送り出して行く所存です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

クラベの CSR・環境活動

私たちクラベグループ社員は、1人ひとりが行動規範、CSR方針に基づいて企業理念実現のため、誠実に行動します。



企業理念

綱領

1. 我々は我々の企業活動を通じて
広く社会の文明に寄与しよう
2. 我々はあらゆる生活に目標と目的を定立し
これに基づいて逞しく行動しよう
3. 我々は自己の心に愛と責任と自由を培い
幸せな人間関係の創造に努めよう

スローガン

わたしたちは、わくわくする未来社会のため、すべてのステークホルダーと公正な関係を築き、たゆまぬイノベーションを高品質な製品として提供し続けます。

クラベグループ行動規範

1. 国内外、社内外を問わず、人権を尊重する。
2. 法律、社会規範、社内規則を遵守する。
3. 環境に配慮し、人間社会の持続的発展に寄与する事業活動、製品開発をする。
4. 社会的に有益かつ安全な製品・サービスを提供し、顧客の満足と信頼を獲得する。
5. 価値ある有形、無形資産、機密情報を適正に管理して事業活動に有効活用する。
6. 顧客、仕入先などの取引先と信頼関係を築き、相互繁栄に努める。
7. 海外への事業展開においては、国際ルールを守り、現地の文化、歴史を尊重し、国際社会に信頼される企業を目指す。
8. 従業員の多様性、個性を尊重し、不合理な差別やあらゆるハラスメントを廃し、安全で働きやすい職場の構築に努める。
9. 反社会的勢力と、断固として決別する。
10. 安定した雇用と良好な労使関係を通じ、地域社会の安全・発展に貢献する。
11. 収益の持続的拡大を図り、強固な企業基盤をつくる。

クラベ CSR 基本方針

我々は法およびその精神を尊重し、社会的規範に従うとともに、社会からの期待に応え、企業活動を通じて持続可能な社会の構築に貢献します。

重点活動

お客様に対して**イノベーションの提供**

サプライチェーンに対して**公正な取引の確保**

社会・環境に対して**循環型社会の実現**

従業員に対して**物心両面の幸福の追求**

株主に対して**安定配当の実施**



品質管理方針

クラベグループは製品開発・ものづくり・販売を通じて、よい品質、をお届けするためのマネジメントシステムを確立し、PDCA サイクルを回すことによる継続的改善を図りながら、お客様の安心・満足につながる品質を提供し続ける活動を推進していきます。



品質向上の考え方

1. 製品安全性の確保

国際規格や各国法規制を遵守すると共に、事故の未然防止を見据えた十分な製品安全性を確保できる設計を行います。

2. 品質マネジメントシステム構築・運用

ものづくりを始めとして組織全般に渡る品質保証体制を構築・運用することでお客様の安心・満足につながる品質をお届けする体制を維持・発展させていきます。

3. お客様の声への取り組み

お客様から見た品質・納期・コストを始めとするクラベグループの提供に対するお客様より頂いた貴重なご意見・ご要望は経営トップを含む関係者で共有し、お客様の満足度向上につながるよう、改善活動を実施して、クラベグループとしての存在価値の向上を目指します。

4. 人材育成活動

よい品質をお届けするための体制作りの一環として、品質マネジメントシステムの運用を通じて OJT を主体とした人材育成を図り、品質マネジメントシステム運用の基盤強化、および従業員の自己啓発を図ります。又、クラベグループ内の海外拠点への赴任を通じて実践体験のみならず、異文化対応力や成果を出せる人材育成にも取り組んでいます。

5. QC（品質管理）サークル活動

よい品質実現の一環として職場での品質向上を図るために、自主改善活動である QC サークル活動を行っています。また年 1 回開催される当社事業所選抜による事例発表会では、品質改善活動の成果発表を行い、表彰を通じて活動結果に対する評価やモチベーション向上を図っています。



環境方針

クラベグループは部品・材料の調達から製品の使用・廃棄までの環境負荷低減、循環型社会の実現、地球環境の保護を目標に環境マネジメントシステムを運用しそのパフォーマンス向上を目指します。

当社の製品および事業活動における環境負荷低減のため次の事項に取り組みます。

1. 温室効果ガス排出量の削減を目指し、省エネルギー、省資源の新工法開発に取り組みます。
2. 廃棄物の排出を管理し、その削減、リサイクルにより資源の有効利用を図ります。
3. 製品および材料の有害化学物質管理を徹底します。
4. 製品のライフサイクルに配慮した設計開発に努めます。
5. 大気、水質、土壌の汚染および騒音の発生防止をし、地域環境保護に努めます。
6. 環境関連の法規制、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。本環境方針達成のため、すべての従業員で地域環境保護のため環境目標を設定し取り組み、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

環境への取り組み

取り組み課題：各工程での課題について、全社一丸となって環境負荷物質低減に取り組んでいます。

開発・設計	環境対応 / 省資源
▼	
調達	仕入先活動 / 化学物質管理
▼	
生産	リサイクル / 省エネ
▼	
物流	廃棄物削減 / 輸送効率化
▼	
市場	法令順守 / リスク管理

環境マネジメントシステム

国内生産拠点

拠点名	取得年月	認証機関	登録章番号
本社	2019年6月	JQA	JQA-EM1594
浜北工場	2005年4月	JQA	
雄踏工場	2001年6月	JQA	
庄内工場	2005年4月	JQA	
都田工場	2005年4月	JQA	

海外生産拠点

拠点名	取得年月	認証機関	登録章番号
KURABE INDUSTRIAL (VIETNAM) CO.,LTD.	2006年7月	BVQI	No.197960
KURABE INDUSTRIAL BAC NINH CO.,LTD.	2013年8月	BVQI	THA001233
上海倉部電子有限公司	2005年5月	NQA	No.E831

活動内容

内部監査の実施と教育

全工場において、ISO14001 の運用、RoHS 管理について、内部監査を実施しています。また、運用の理解を深めるために勉強会を実施しています。

環境調査

1.産業廃棄物処分場の確認

委託業者に対し適正な処理がされているか、実施確認を行っています。

2.仕入先実施監査

仕入先に対し、RoHS 管理がされているか実施監査をしています。

3.作業環境測定

有機溶剤、粉塵、騒音など対象となる作業場について、作業環境測定を実施しています。

4.アスベスト対策

2006 年に全工場の使用状況を確認し、対応を完了しています。

活動計画

実施項目	監視項目	目標値	関連法規
産業廃棄物の排出量削減	排出量	-1% (前年比)	廃掃法
	リサイクル率	+1% (前年比)	各種リサイクル法
電気使用量の削減	電気使用量	-1% (前年比)	省エネ法
生産性向上	生産効率	5%	
製品含有化学物質管理の徹底	不適合件数	ゼロ	化審法 RoHS規制



購買方針

公正な取引

私たちは、自由な競争基盤の上で、合理的で最適な調達を行います。

健全な取引関係の構築

私たちは、取引先との信頼関係を大切に、相互発展を目指します。

法令の遵守

私たちは、取引を行う各国の関連する法令を遵守します。

適正な価格・品質と安定的な調達

調達にあたっては、購買先の評価基準を設け、価格・納期・品質・技術力・環境のほか、情報力や提案力、コミュニケーションなどを総合的に採点して判断して安定的に購買します。

CSR（企業の社会的責任）調達の推進

私たちは、環境や、人権など社会面に配慮した責任ある調達活動を行います。取引先に対しても CSR 調達の順守を求めます。

労働安全衛生方針

全ての職場、全ての事業活動において、従業員の安全と健康の確保を最重要課題とし、安全で快適な職場環境の形成を促進していきます。

1. 代表取締役をトップとする全社安全衛生委員会活動を軸に、全ての拠点に安全衛生委員会を設置し、労働安全衛生の継続的な改善推進します。
2. 設備や装置、使用する化学物質について、リスクアセスメントを実施し、リスクの低減に継続的に取り組みます。
3. 労働安全衛生法を始めとする労働関係法令を遵守した上で、自主基準を設け、より安全な職場環境を目指します。
4. 健康診断や産業医との連携により、従業員の健康管理を充実させます。
5. 障害者や高齢者にも働きやすい安全で快適な職場を目指します。



情報セキュリティ方針

会社が保有する情報は経営資源の一つであり、その情報セキュリティが重要であることを社員 1 人ひとりが認識し、これを適正に保護し、有効活用していきます。

1. お客様からお預かりした情報、当社のノウハウや知的財産、あらゆる経営上の機密情報、個人情報等を適切に保護し、管理する規則を定め遵守します。
2. 情報を取り扱う全社員に対し、情報セキュリティの重要性や具体的な行動規範について、規則や「情報セキュリティハンドブック」により教育を行います。
3. 機密性、安全性の維持・向上のため、情報インフラの最新化を実施していきます。また、情報技術の高度化に対する最新のセキュリティ技術を研究し、適正に取り入れていきます。
4. 社内監査や情報セキュリティ委員会活動により、情報の安全性を確実にし、継続的な改善を図っていきます。
5. 万一、情報漏洩の事故が発生した場合、あるいは漏洩の可能性が発覚した場合には、被害を最小限に留めるとともに、再発防止策を講じます。

コンプライアンス方針

我々は、社会の一員として、法及びその精神を尊重し社会規範にしたがって行動し、国際社会から信頼される企業を目指します。

1. 全社員が法令等を遵守し、社会の一員として良識と責任ある行動をします。
2. 社員の行動規範を定め、法令、社内規則、就業規則等も合わせ、教育をしています。
3. 内部監査等で遵守状況をチェックし、問題を未然に防止します。
4. 万一、問題が発生した場合は、速やかに事態を収拾し、原因を明らかにして、再発防止策を講じます。

事業継続計画(BCP)

基本方針

国内及び海外拠点において、自然災害、不慮の事故、戦乱等における電気、水道等のユーティリティの供給停止、主要設備の故障、部品・原材料の納入停止、輸送機関の途絶や火災、地震、台風、洪水・冠水等による生産停止及び品質問題発生による不測事態発生時に、従業員と家族及び訪問者の身の安全を守り、早期事業の再開をはかり雇用を維持して、事業機会の逸失と顧客離れを回避し、供給責任を果たし、顧客からの信用を守るための手順を定める。

組織図

不測事態対応組織の設置および解消は、代表取締役が決定する。組織図を次の通りとする。



次世代育成支援活動

1. 一般事業主行動計画の策定について

次世代育成支援対策法では、事業主が次世代育成支援を進めて行くこととされています。当社では、仕事と子育てに両立を図るために必要な雇用環境の整備等をすすめるための「一般事業主行動計画」を策定し、今般下記のとおり公表いたします。

2. 雇用環境の整備に関する事項

(1) 子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備

-1：育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備として次のいずれか一つ以上の措置の実施。

- 男性の育児休業取得を促進するための措置の実施
- 労働者の育児休業中における待遇及び育児休業後の労働条件に関する事項についての周知
- 育児休業期間中の代替要員の確保や業務内容、業務体制の見直し
- 育児休業をしている労働者の職業能力の開発及び向上のための情報提供
- 育児休業後における原職又は原職相当職への復帰のための業務内容や業務体制の見直し

-2：労働者が子どもの看護のための休暇を取得できる制度の導入

(2) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

-1：多様な働き方の選択肢を拡大するための短時間勤務や隔日勤務の導入

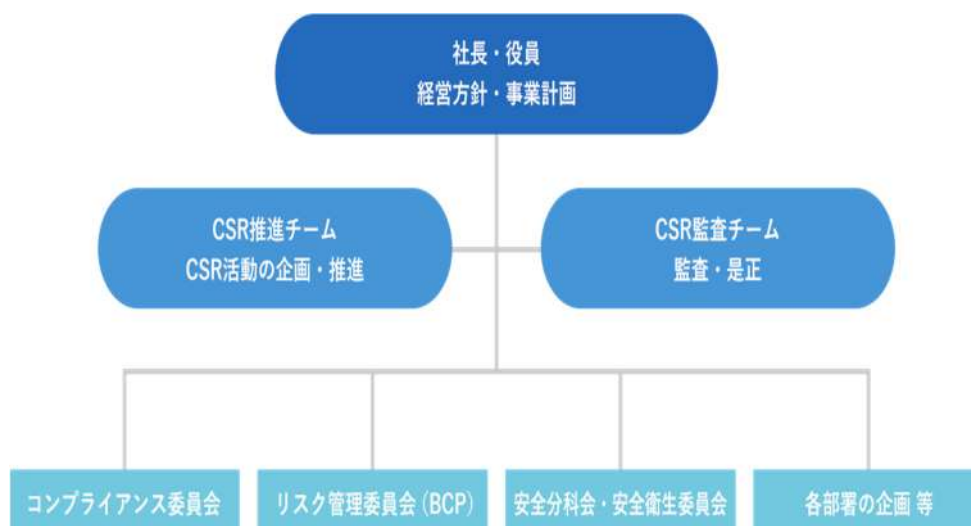
3. その他の次世代育成支援対策に関する事項

(1) 子育て支援手当の新設

(2) 若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供、トライアル雇用等を通じた雇入れの推進



CSR 推進体制



内部統制システム

1. 取締役・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

当会社は法令および定款を遵守する指針として基本規則、社内規則、就業規則について、実情に対処すべき見直しを随時おこない、また一定期間を経過した規定については定期見直し、改訂、審議しております。

2. 取締役の職務の執行に係わる情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係わる情報については、秘密情報管理規程に従い、総務部にて機密漏洩がないよう適切に保存・管理されています。

3. 損失の危険の管理に関する規定その他の体制

総務部の秘密情報管理規程、品質管理部の是正予防処置基準、営業本部の売掛金管理細則、生産技術部の設備管理基準、管理部の情報処理業務規程、そして海外子会社では緊急時対応管理細則で行動規範を設定してあります。損失の危険の事態が発生したならば、関係部署を含めた委員会を設置、これに対処しております。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行なわれることを確保するための体制

取締役の効率的な職務遂行には定期的に行われる取締役会がこれに該当します。なお、取締役会は経営の環境変化に対応できるよう必要に応じて臨時に取締役会を開催します。また、監査役はプロジェクトチーム会議等に参加し、職務遂行の効率化を図っております。

5. 当社並びにその親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制

企業集団における業務の適正を確保するために、海外子会社について当社親会社で委員会を設け問題の解決を図るべき対処を決定しております。その際、支援が必要と思われる件については海外出張を含め適時対応しております。

6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する体制

監査役は、監査内容によって、あるいは監査役が求めた場合にその部署で協力すべき担当者を置く体制になっております。

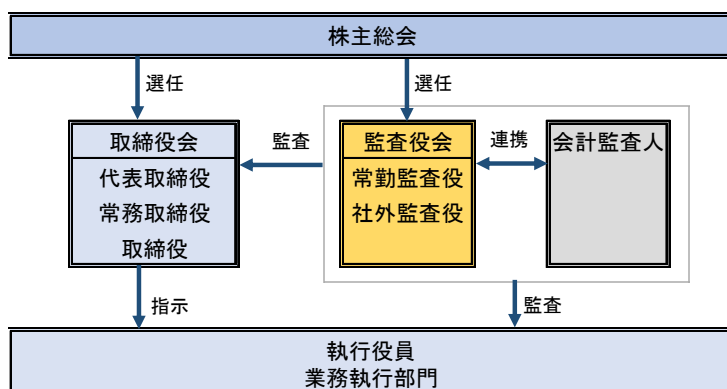
7. 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制

取締役および使用人は、監査役または監査役会に対して法令違反および会社に著しく損害を及ぼす恐れのある事項については、その内容を速やかに報告しております。

8. その他監査役の監査が実効的に行なわれることを確保するための体制について

監査役は、職務遂行のため取締役会に参加し、必要に応じて開催されるSD(システムデザイン)委員会に参加しております。また、監査が実効的に行なわれるために会計監査人等と緊密な連携を保ちながら情報・意見交換をおこない、監査では必要な稟議書の閲覧、文書の提出を要求し関係者から説明を求め監査を実施しております。

コーポレートガバナンス体制



(空白のページ)

2019 年活動報告



お客様に対して



新規拠点の追加

2019年1月 Kurabe Europe GmbH (KEG) が始動しました。ヨーロッパ初の拠点として、ヨーロッパ地域の顧客サービスを担っていきます。

ホームページの更新

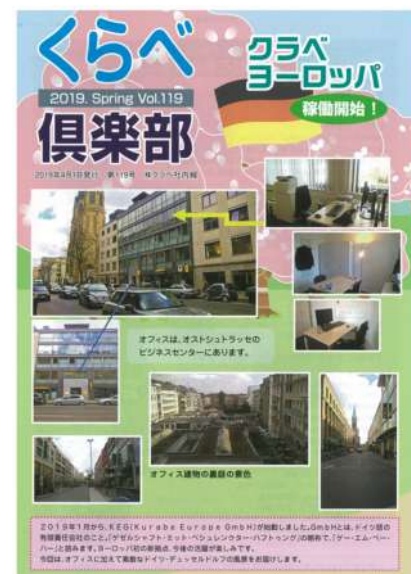
スマートフォン等の閲覧に最適化した構成とコンテンツを見直し、新たにクラブ CSR を公開しました。

顧客満足度調査 (CS) の実施

CS についてアンケートを年 1 回実施して、トップマネジメントへ報告し、顧客との更なる関係を深める施策を実施しています。

情報セキュリティ

当社では、情報セキュリティインシデントを起こさないための基本的な取り組み事項を定めた「情報セキュリティハンドブック」を 2014 年に発行していますが、昨今の情報セキュリティに対する更なる強化の必要性を鑑み、内容の見直しを実施して情報の機密性、完全性、可用性の強化に努めています。



ホームページの公開

展示会の開催

お客様企業にて、プライベート展示会を、国内外で年間 11 社行いました。

新製品情報

EXSS150

EXSS150 は柔軟な PE 樹脂混合物を絶縁体に使用した耐熱電線です。

カメラ曇り止めヒーター

薄型で優れた柔軟性を備えたヒーターエレメントを自社固有のワイヤーハーネス技術と組合せ、各種仕様・用途に適した提案を行えます

REH-RS

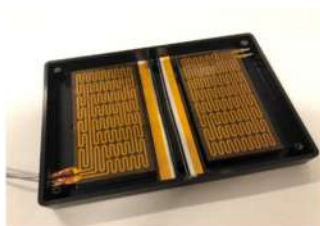
新規パワーケーブル (低分子シロキサンガスレス開発品)



展示会の開催



自動車向 EXSS150



薄型曇り止めヒーター



低分子シロキサンガスレス
パワーケーブル REH-RS

サプライヤーチェーンに対して



Web 電子購買業務システム「KURABE Web-EDI」の導入

日本製造業のグローバル化が急激に進むなか、マーケットの急激な変化や要求に対応する為、経営戦略の一環として、インターネットを利用した EDI システムを導入しました。これにより、

- リアルタイムな受発注によるスピード調達、
- 作業ミスの低減並びに人的負荷の削減、
- 調達手続きの電子化による取引情報の一元管理及び見える化、
- 仕入先様での取引情報の有効活用
- 作業負荷の低減し、コミュニケーションが向上する効果

が見込まれます。

『CSR 購買ガイドライン』

ホームページの更新に合わせて、お取引先さまに公開させていただきました。

クラベグループが CSR を実践するには、お取引先さまにご理解、ご協力頂くことが重要となります。

『CSR 購買ガイドライン』は、

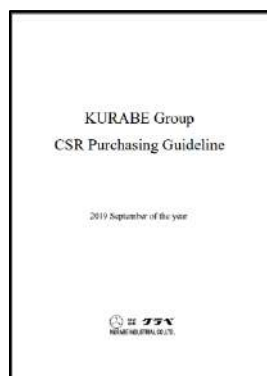
人権・労働、安全・衛生、環境、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティ、社会貢献の 7 分野について、取り組み内容を示すものです。



EDI 仕入先様説明会の様子



「KURABE Web-EDI」Top 画面



社会・環境に対して

当社の製品および事業活動における環境負荷低減活動報告



①CO2排出量

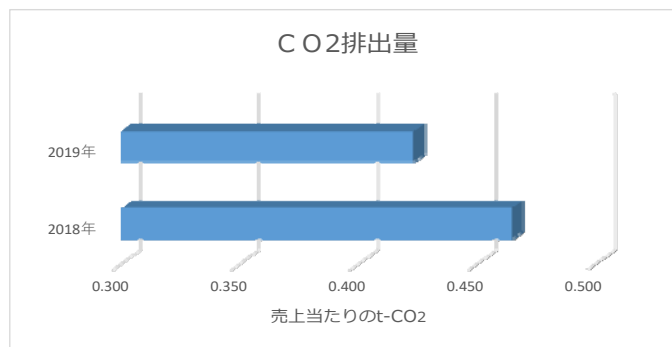
(省エネ法定期報告書による)

(単位売上当たりのt-CO2)

2018年	2019年	
0.465	0.424	8.8%減

省エネ施策の実施、ごみ分別徹底等を通じてCO2排出量の低減を行った。

省エネ法では、事業者をS・A・Bのクラス分けしており、Sクラスの事業者は、優良事業者として経済産業省HPで公表されます。クラブは4年連続でSクラスです。

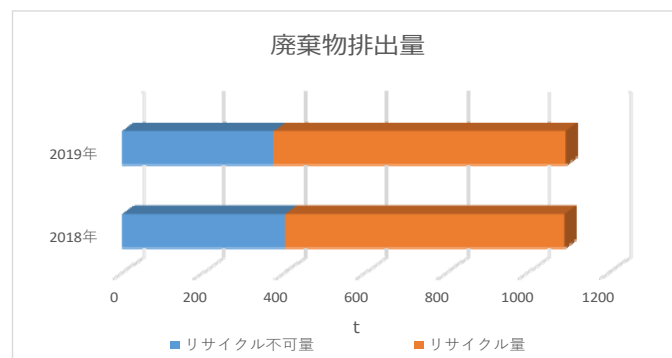


②廃棄物排出量

(t)

	2018年	2019年	
廃棄物量	1,090	1,094	0.3%増
(内訳)			
リサイクル不可量	402	374	7.0%減
リサイクル量	688	720	4.6%増

リサイクル比率を増やすことによって、リサイクルできない廃棄物量を減らし、環境影響への低減に配慮している。



③化学物質管理

設計	製品アセスメントによる環境影響評価の実施 新規材料検討時の環境負荷物質成分調査
購買	当社指定の不使用保証書入手 不使用保証書を手入れできない仕入先からの購買は原則禁止 基準に従った受入検査の実施 定期的な仕入先評価の実施
工程	RoHS対応/非対応ライン、材料・製品置き場の識別 適合した副資材の使用
出荷	管理基準への適合確認

④ISO14001認証活動

登録証番号：JQA-EM1594 有効期限：2022年5月31日

登録範囲：浜北工場、雄踏工場、庄内工場、都田工場、本社

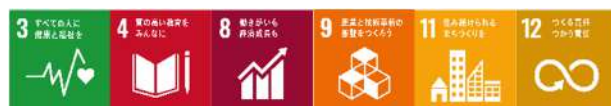
※2020年8月篠原工場追加予定

⑤製品設計に生かされた例

- ・車載向け省エネ対応ヒーターの設計製造販売（カーシート・ステアリングヒーター）
- ・消費電力低減ヒーターの開発中
- ・快適性を考慮したヒーターの開発中（産学協同）



従業員に対して



人材育成

スキルアップを狙った専門教育からリーダー育成を目指した階層別教育や通信教育などを実施しました。

CSR の教育訓練

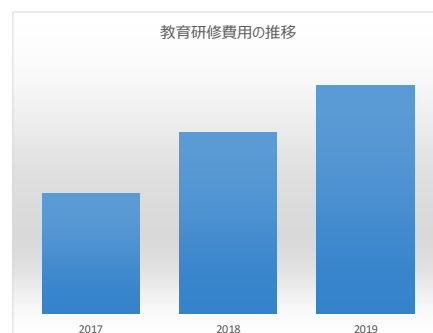
各事業所でクラブ CSR の勉強会を実施しました。

防災減災活動について

防災訓練を国内 6 事業所で統一して 10 月に実施しました。

BCP（事業継続計画）の作成

国内 6 事業所について BCP 初版を策定しました。



CSR の社内啓蒙活動

海外子会社従業員の研修

8 月にベトナム子会社より 8 名の研修生が、2 カ月間新製品の製造の研修をしました。

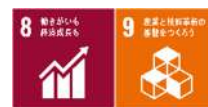
社員旅行

ベトナム子会社では、バスを連ねて旅行を楽しみ、社員同士の親睦を深めました。



ベトナム 親睦旅行

その他のトピックス



開発センター及び商品センター着工

クラブでは国内 6 番目となる工場を建設中です。浜松市都田地区に広さ約 52,000 m²の土地を取得し、開発センター、商品センターの建築を開始しました。両センターは 2021 年 5 月開設を予定しています。

本センターは開発、商品物流のあらゆる面からの効率向上を企画し、最適環境での業務ができる施設としました。



最大出力 300 k W h の太陽光発電を備えた都田北工場完成予想図

ISO14001 全製造拠点取得に向けて

2019 年、本社の審査登録を行い、篠原工場は、2020 年 8 月審査登録を目指して、活動中です。



防潮堤への寄付

東日本大震災の津波被害を教訓とした遠州灘海岸の防潮堤は、クラブを含め地元企業も多くの寄付を行っています。2013 年 4 月に着工で 7 年に及んだ建設工事を経て 2020 年 3 月末に竣工しました。



完成した防潮堤

終わりに

皆様のご協力に感謝いたします。

発行部署：CSR推進委員会 発行日：2020 年 7 月